

令和6年度 当初予算案の概要



当初予算案編成の考え方

◆骨格予算として編成

- ・ 予算編成時に市長選挙が行われたため、義務的経費や第8次総合計画ほか継続的な事業に関する経費を中心に編成
- ・ 以下の事業は新規事業等でも予算計上
緊急性を有する安全対策に係る事業
国、県、関係団体等との連携した実施が年度当初から必要な事業
年度当初から実施しなければ市民生活に支障がある事業 など

◆今後、補正予算で肉付けを行うことを予定



一般会計当初予算案の総額

令和6年度

1,956億円

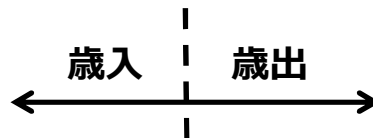
前年度比 73億円増
(3.9%増)

- ・ 骨格予算としつつも、第8次総合計画の推進に継続的に取り組むほか市民の暮らし応援、安全安心に関する事業や喫緊の課題解決に確実に対応
- ・ 義務的経費や継続的事業の増額の影響もあり、一般会計当初予算額としては過去最高額

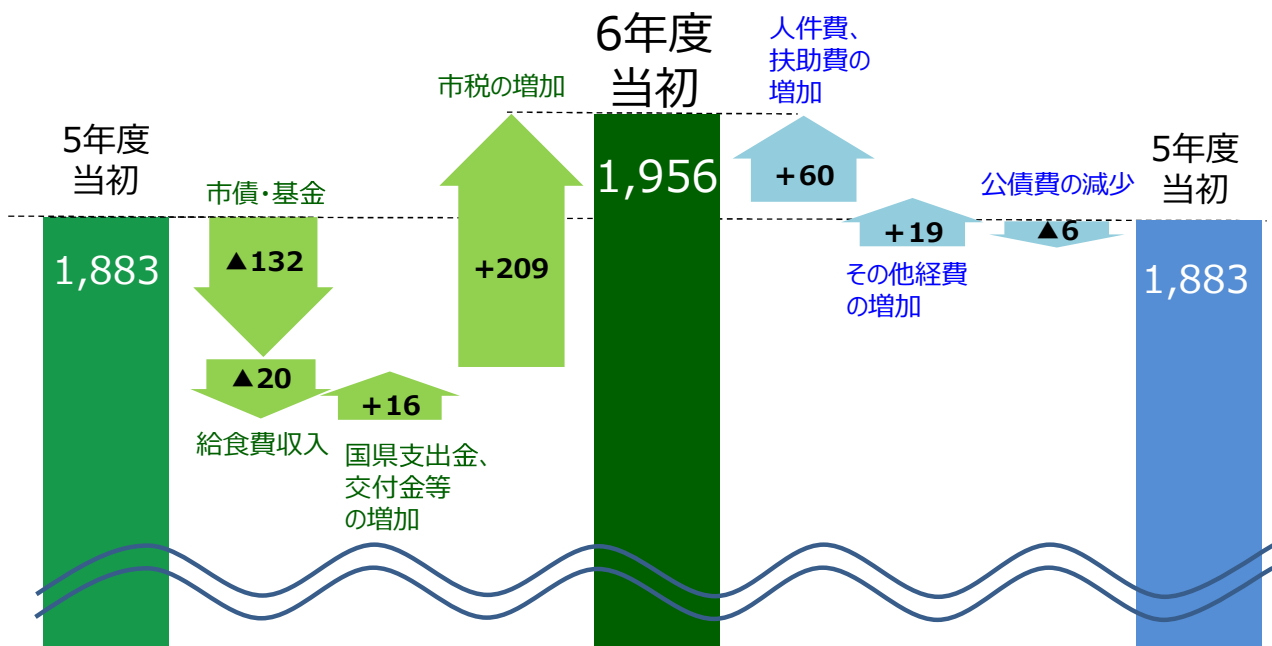


3

■ 前年度比較



(単位：億円)



4

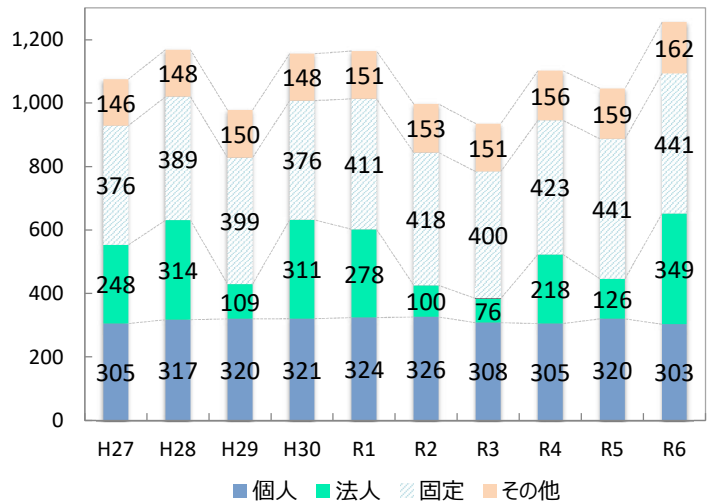
■ 歳入の特徴 <市税>

- ・ 市税は、**1,255億円（対前年度209億円の増）過去最高額**
- ・ 個人市民税は、定額減税の影響で17億円減
- ・ 法人市民税は、企業業績の変動により223億円増

【主な市税の対前年度比較】（単位：億円）

	6年度	5年度	増減
個人市民税	303	320	▲17
法人市民税	349	126	223
固定資産税	441	441	0
その他市税	162	159	3
計	1,255	1,046	209

【市税当初予算額の推移】（単位：億円）



市税 予算	1,075	1,168	978	1,156	1,164	997	935	1,102	1,046	1,255
----------	-------	-------	-----	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-------

5

■ 歳入の特徴 <市税以外の歳入>

- ・ 市税の増額により、繰入金（基金）、市債の活用は減額

（単位：億円）

区分	6年度	5年度	増減額	主な内容
地方特例交付金	26	5	21	個人市民税定額減税分 21億円
地方譲与税 各種交付金	159	168	▲9	
国県支出金	392	381	11	扶助費の国県負担分やその他補助金
繰入金	7	79	▲72	基金繰入金 77億円→5億円 市税増により減
諸収入	46	58	▲12	給食費無償化に伴う給食費収入の減 19.7億円
市債	10	70	▲60	市債10億円 市税増により減
その他歳入	61	76	▲15	
合計	701	837	▲136	

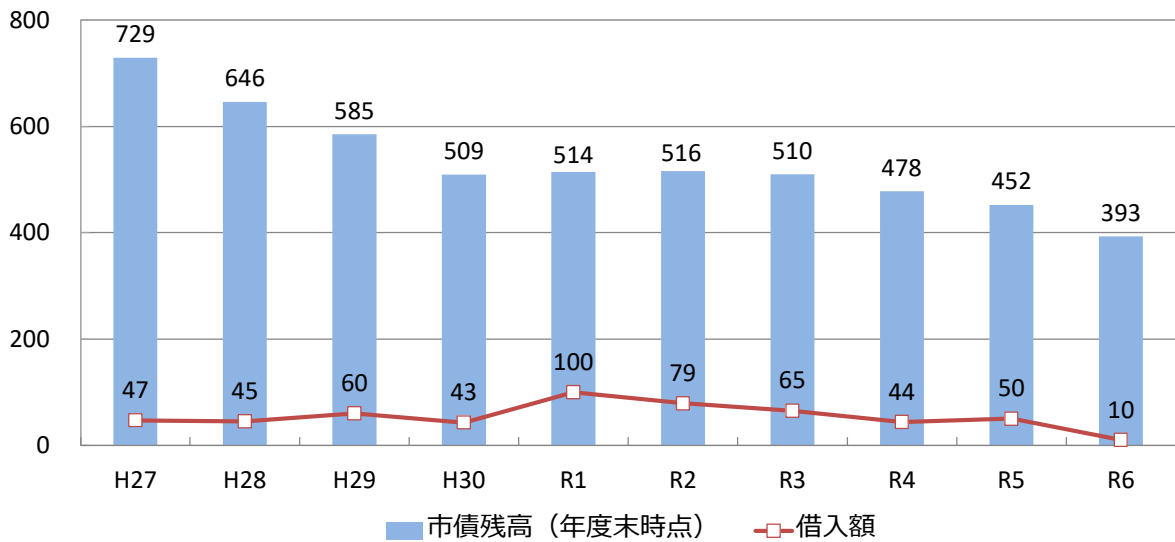
6

■ 歳入の特徴 < 市債 (借入金) > 令和6年度借入 10億円

- ・市債残高は減少。将来負担を減らし、健全財政を維持。

【市債残高 (年度末時点) と借入額の推移】

(単位：億円)



元金償還額	129	128	121	119	95	77	71	77	75	69
-------	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----

※H27～R4は決算額、R5、R6は見込み額

7

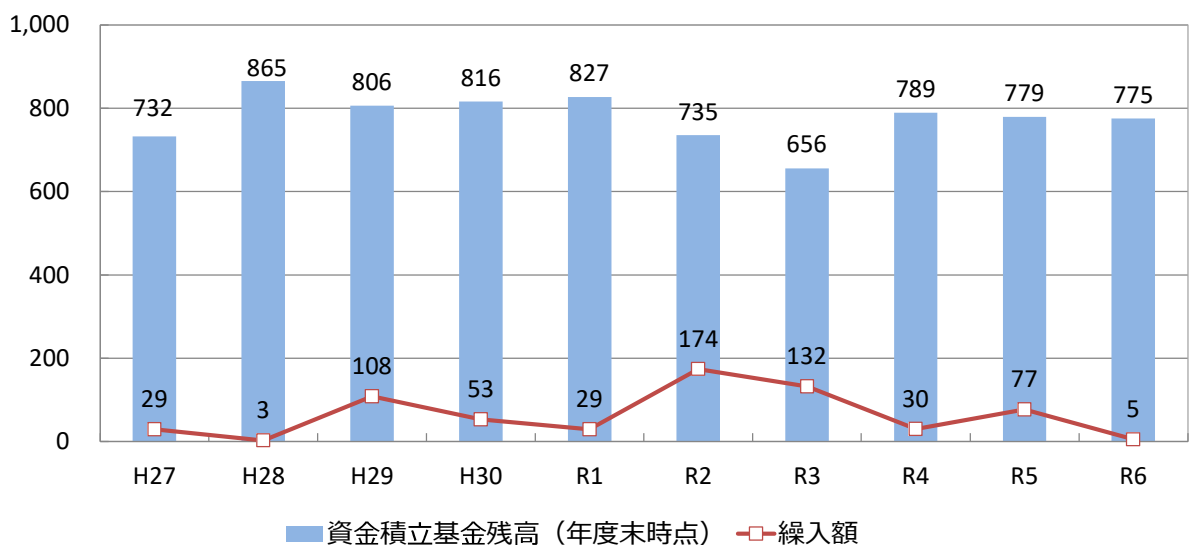


■ 歳入の特徴 < 基金 (繰入金) > 令和6年度取崩 5億円

- ・今後の計画事業の財源や景気変動等への備えとして基金を確保

【資金積立基金残高 (年度末時点) と繰入額の推移】

(単位：億円)



積立額	173	136	49	63	40	82	53	163	67	1
-----	-----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	---

※H27～R4は決算額、R5には補正予算分を含む、R6は当初予算額

8



■ 歳出の特徴 < 義務的経費 >

- ・ 義務的経費は増（人件費・扶助費は増、公債費は減）

（単位：億円）

区分	6年度	5年度	増減額	主な内容
人件費	352	323	29	会計年度任用職員への勤勉手当等の増 定年延長に伴う職員退職手当支給者の増
扶助費	386	355	31※	児童手当の拡充、子ども医療費の対象拡大 障がい福祉費の増額 ※増額のうち、市負担増は7.6億円
公債費	71	77	▲6	償還元金の減少
計	809	755	54	



9

■ 歳出の特徴 < その他経費 >

- ・ 継続的に推進する事業や市民の安全安心のための事業は確実に予算措置

（単位：億円）

区分	6年度	5年度	増減額	主な内容
物件費	392	383	9	公共施設の維持管理運営、各種事業の業務委託 自治体システム標準化
維持補修費	37	35	2	公共施設維持補修
補助費等	239	237	2	協会公社等運営費補助金、各種補助事業 後期高齢者療養給付費負担金
普通建設事業費	366	362	4	名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 小中学校体育館等空調設備整備事業 豊田参合館長寿命化等改修負担事業
繰出金	90	88	2	国民健康保険、介護保険等特別会計への繰出金
その他	23	23	0	
計	1,147	1,128	19	



10

第8次豊田市総合計画後期実践計画

・令和6年度は後期実践計画の最終年、継続的に事業を推進

<重点施策>

<基本施策>

重点施策1
超高齢社会への適応

重点施策2
**「ひと」と「しごと」が集まる
 ミライへの投資**

重点施策3
まちの課題解決力の強化

I 子ども・子育て

II 生涯学習

III 健康・福祉

IV 安全・安心

V 産業・観光・交流

VI 環境

VII 都市整備

VIII 地域経営

11



超高齢社会への適応

生涯活躍の推進 ・ 安心して暮らせる地域包括支援体制の強化

◆ **官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」**（1億1,582万円）

高齢化の進展やコロナ禍における高齢者の外出抑制に伴う介護リスク上昇に対応するため、民間の知見を活用した成果報酬型の介護予防事業を実施

◆ **新規 加齢性難聴等への補聴器購入補助**（525万円）

障がい者に加え、加齢などによる聴力の低下で日常生活に支障がある人の補聴器購入に対する補助制度を新設

◆ **拡充 認知症伴走型支援事業**（155万円）

認知症の人の家族が抱える日常生活における困り事に、専門職が助言などを行う窓口を新たに設置

◆ **拡充 介護人材確保の推進**（1,991万円）

多様な担い手の創出、介護職員のスキルアップ、介護サービス事業所の職場環境向上を支援。令和6年度は新たに介護事業所の職場改善を支援する専門職を派遣

12



「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

住み続けたいまちづくり

- ◆ **新規** **こども園・幼稚園から中学校までの給食費無償化** (19億7,055万円)
 ※予算額は無償化に伴う歳入の減少額
- ◆ **新規** **小中学校体育館等の空調設備整備** (39億2,045万円)
 全小中学校の体育館・武道場に空調設備の整備を実施
 令和7年度整備完了予定 債務負担行為 25.6億円
- ◆ **拡充** **高校生世代までの医療費無償化** (26億2,229万円)
 通院の医療費助成の対象を高校生世代まで拡大
 大学生等の入院費の無償化を引き続き実施
- ◆ **新規** **名鉄豊田市駅駅舎の整備** (1億9,030万円)
 名鉄豊田市駅の北改札の新設・耐震化
 債務負担行為 59.5億円
- ◆ **世界ラリー選手権の開催** (8億円)
 開催期間：令和6年11月21日(木)～24日(日)

13



まちの課題解決力の強化

多様な「つながり」による豊かな暮らしの創出 ・ 持続可能な地域経営

- ◆ **SDGsの達成に向けた取組** (1,889万円)
 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向け、SDGsパートナーの交流促進や、SDGs認証制度の運用を実施
- ◆ **都市と山村の共生推進** (4,702万円)
 山村ツアーや都市部の企業、団体と山村部をつなぐ交流マッチング等により、都市と山村の交流の機会を創出
- ◆ **新規** **粗大ごみ受付のオンライン化** (515万円)
 粗大ごみの収集受付をオンライン化し、24時間申し込みが可能に
- ◆ **拡充** **スマート窓口の拡充** (2,731万円)
 印鑑登録、マイナンバーカード等の申請手続きを追加し、「書かない・待たない窓口」を実現
 令和6年秋頃運用開始

14



基本施策の取組

子ども・子育て

- ◆ **拡充** 一時保育事業の拡大 (2,336万円)
- ◆ 「とよた急病・子育てコール24」の運営 (3,884万円)

生涯学習

- ◆ 博物館開館記念イベント、展覧会 (5,335万円)
- ◆ **拡充** ものづくり体験、活動機会の充実 (2,800万円)

健康・福祉

- ◆ 予防接種の実施 (18億2,103万円)
- ◆ 地域包括支援センターの運営 (9億6,001万円)

安全・安心

- ◆ **拡充** 交通事故防止対策の推進 (2億8,854万円)
- ◆ **新規** 災害時情報通信設備の整備 (13億7,798万円)
- ◆ **新規** 高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の整備
 (債務負担行為 42億2,579万円) ¹⁵



基本施策の取組

産業・観光・交流

- ◆ 豊田おいでんまつりの開催 (2億3,500万円)
- ◆ 三河湖観光センター及び旭高原元気村の再整備 (6億7,631万円)

環境

- ◆ **新規** 小中学校等公共施設への太陽光発電設備設置 (477万円 債務負担行為3.2億円)
- ◆ **新規** 既存住宅の省エネ化促進 (3,500万円)

都市整備

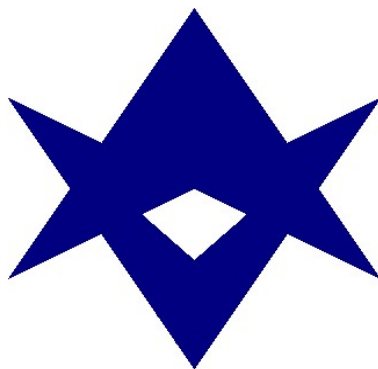
- ◆ 魅力的な都心の形成に向けた取組 (25億6,230万円)
- ◆ 名鉄三河線若林駅付近の高架化の推進 (64億6,144万円 債務負担行為135.6億円)
- ◆ 産業活動等を支える道路ネットワークの強化 (16億6,177万円)

地域経営

- ◆ 都市内分権の推進 (4億4,433万円)
- ◆ 多文化共生のまちづくりの推進 (3,214万円)



施策別の事業内容は別冊「豊田市の予算」にて
御確認ください。



豊田市は、持続可能な開発目標を支援しています。